

# 新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止のための 聾学校の教育活動における新たな行動様式

## <感染予防の基本>

- ①感染源を断つ  
・検温等による確認と対応
- ②感染経路を断つ  
・手洗い、消毒、マスク
- ③抵抗力を高める  
・睡眠、栄養、適度な運動

## <感染防止の基本>

- ①**身体的距離の確保**  
・最低 1 m、正面を回避
- ②**マスクの着用**  
・症状がなくても着用
- ③**手洗い**  
・水と石けんで 30 秒以上

## <感染拡大防止の基本>

- ①密集した状態  
・大人数で集まらない
- ②密接なかかわり  
・接触や近距離での会話に注意
- ③密閉した空間  
・定期的な換気（夏季も）

◇子どもや教職員の感染を**早期に発見**するために

◇子どもや教職員が**濃厚接触者にならない**ために

※濃厚接触者：感染者と発症の2日前から、1m以内で、15分以上の会話をした者

◇安心・安全な**教育活動を継続**させるために



**新たな行動様式の  
確立と指導**

**毎日の健康チェックと接触感染（人、物など）、飛沫感染のリスクの最小化を！  
距離が離れてもマスクをしても、伝え合う意識と手立てをしっかりとろう！**

### 【基本的な対策】

- 検温と健康観察 →発熱（37 度以上目安）、風邪症状があれば待機室へ移動・保護者連絡
- マスクの着用 →登下校時の着用、学校内でもできるだけ着用、運動時ははずす
- 手洗いの励行 →登下校時、教室外から戻った時、給食の前後 共用物を使う前後 等
- 定期的な換気 →出入口や窓の開放 欄間窓の常時開放、休み時間の換気（夏季も）
- こまめな消毒 →頻繁に触る場所、共用物（遊具、教材教具 等）、トイレ 等

### 【スクールバスにおける対策】

- 乗車時の健康観察とアルコール消毒
- 座る間隔をあける
- 会話は控える
- 十分な換気（安全に配慮）
- マスクの着用
- 下車後の換気と消毒

### 【教育活動等における対策】

- 子ども同士や教員との距離を 1 m 以上（できれば 2 m）とる。座席は横並びにする。
- 近距離の対面や大声での指導は可能な限り避ける。対面で行う場合は必ずフェイスシールドや透明シートを使用するか、2 m 以上の距離をとる。
- 子ども同士や教員との身体接触を伴う活動は極力避ける。
- 子どもや聴覚障害教員の情報保障に配慮する。（日常的な手話や筆談、ICT 機器の活用 等）
- 音読や歌唱等の場合は向き合うことなく、間隔を 2 m 以上あける。窓等は開放する。
- 生徒会活動等の集団活動や休み時間、給食や寄宿舎生活等のあらゆる教育活動において「(3)密」にならないように手立てを講じ、子どもへの指導を行う。

### 【学校運営における対策】

- 検温等の健康管理に努め、風邪症状の場合は休む。濃厚接触状態の記録を残す。
- 全体での朝礼、職員会議や研修会等は控え、遠隔システムやビデオ視聴等を活用する。
- 少人数の会議や打ち合わせも「(3)密」に十分注意し、効率的にすすめる。
- 新型コロナウイルス等の情報共有に努め、子どもや保護者、教職員の人権に十分配慮する。